

# 〔章のタイトル〕

〔話した人の呼び名〕の話から

表紙：題と、誰の話かを書きます。

写真を使う場合は、写っている人の了承をとります。

家族の一冊

## この章について

この章は、〔話した人〕に「〔使った質問〕」と聞いたときの話をまとめたものです。

使った質問      〔質問の番号と文〕

話した人        〔呼び名〕

聞いた人        〔呼び名〕

聞いた日        〔年月日。わからなければ「不明」〕

「」の中は、話した言葉のままです。言い換えた文とは区別して書いています。——この一文は、残しておく人と読む人に伝わります。

## 第 一 章

# 〔章のタイトル〕

いつ：〔いつの話か〕

どこで：〔どこでの話か〕

---

本文：聞いた言葉は「」に入れて、そのまま書きます。言い換えた文は「」の外に。わからないところは〔要確認〕のまま残し、本人に確かめます。

本文のつづき(4ページ)。本文が短ければ、このページは空白のままでかまいません。長くなるときは、ページを増やします(文字を小さくして詰め込みません)。

本文のつづき(5ページ)。本文が短ければ、このページは空白のままでかまいません。長くなるときは、ページを増やします(文字を小さくして詰め込みません)。

本文のつづき(6ページ)。本文が短ければ、このページは空白のままでかまいません。長くなるときは、ページを増やします(文字を小さくして詰め込みません)。

残したい言葉

「〔残したい一言〕」

〔誰の言葉か。いつ、どんなときの言葉か〕

本人の言葉なら、一字一句そのまま。言い換えた場合は「」をつけずに書きます。

## 制作情報

題 〔章のタイトル〕

話した人 〔呼び名〕

聞いた人 〔呼び名〕

聞いた日 〔年月日〕

原稿 第〔 〕版（本人未確認の下書き／本人に確認した原稿）

作った日 〔年月日〕

このテンプレートについて

家庭のプリンターで試すための「読み順」のレイアウトです。ページはこの順番に並んでいます。

印刷会社に入稿する場合は、各社の条件（塗り足し・用紙・面付け・ページ数など）に合わせて作り直してください。このままの入稿を前提にしたデータではありません。

家族の一冊「最初の1章キット」 | 2026年10月版